

実践！コミュニティマーケティング -株式会社御用聞きの挑戦-

1. 趣旨

「重い荷物を下ろせない」「電球や乾電池の交換ができない」「ペットボトルや瓶の蓋が開けられない」…日常生活上のちょっとした困りごとでも高齢者には大きなストレスとなり生活が脅かされる。これらの支援は、家族やご近所の問題と認識され社会的対応がなされてこなかった制度の狭間問題だ。「株式会社御用聞き」は、5分100円の「100円家事代行」や5分300円からの「たすかるサービス」などユニークな生活支援サービスで解決、地域活性化につなげようとしている。板橋区で起業した事業は7年間で依頼総数6000件を超え、団地群を中心に関東圏に広がりつつある。同社は、2025年までに北海道から沖縄まで国内8割の地域でサービスを提供する目標を打ち出している。「電気・ガス・水道・通信に次ぐサービスのインフラを確立したい。水道のように蛇口をひねれば全国どこでも安全で安価な水が出てくる、そんなイメージ」…全国的に家族崩壊と高齢化が進み、コミュニティが失われつつある中で、公的サービスだけでは賄いきれない孤立する高齢者への支援を行う同社の取り組みは、ソーシャルエンタープライズ(社会的企業)のビジネスモデルとして注目されている。この「株式会社御用聞き」の創業者であり代表の古市盛久氏をお招きし、設立の動機、目指すもの、システム、取り組み事例などを伺う中から、ソーシャルエンタープライズの可能性、福祉関係者の制度外ニーズへの視点の必要性、福祉専門職の展望等を考察したい。

2. 講師

「株式会社御用聞き」代表取締役 古市盛久 氏

【講師プロフィール】

東京都出身。多摩大学経営情報学部卒業後、2001年に不動産会社に就職。同年末に退職して不動産仲介業として独立。2009年インターネットを活用した会員制買物代行サービスに乗り出すも、1年で事業を畳む。その際、会員へのお詫びり脚するなかでちょっとした家事援助の依頼が相次ぎ、「御用聞き」のヒントを得る。その後2010年から「100円家事代行」に乗り出し、ソーシャルエンタープライズによる生活支援サービスのビジネスモデルを模索してきている。



3. 日時

2019(平成31)年3月9日(土) 15:00~16:30

4. 会場

岡山県総合ボランティアNPO会館「きらめきプラザ」401会議室

※岡山駅から徒歩約15分

〒700-0807 岡山県岡山市北区南方2-13-1

※きらめきプラザの駐車場は一般来館者用です。きらめきプラザの駐車場はご利用出来ませんのでご了承ください。来場時は公共交通機関でお越しください。お車でお越しの場合は、周辺の有料駐車場(各自負担)をご利用ください。



5. 対象

社会福祉士会会員・福祉関係団体職員・一般の方 (事前申込制)

※ただし、会員以外の方の参加は、会場の定員を超える場合お断りすることがあります。

6. 参加費

無料

7. 問い合わせ・申し込み先

一般社団法人岡山県社会福祉士会

〒700-0807 岡山県岡山市北区南方2-13-1 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館(きらめきプラザ)7階

tel086-201-5253 fax086-201-5340 (受付8時半~17時) Eメール:office@csww-okayama.org

参加申込書(本会会員以外の方専用) ※本会会員の方は総会開催通知同封の出欠葉書にてお知らせください。

| | | | |
|-----------|--|-----------|--|
| お名前 | | 所属 | |
| 連絡先(携帯電話) | | 連絡先(Eメール) | |